

HPV ワクチンのキャッチアップ接種について

令和4年4月より、HPV ワクチンのキャッチアップ接種が行われています。



HPV ワクチン…
キャッチアップ接種??

子宮頸がんのほとんどは、ヒトパピローマウイルス(HPV)の感染で生じることがわかっています。HPV の感染を防ぐために、日本ではワクチン(HPV ワクチン)の接種が提供されています。

また、キャッチアップ接種とは、

- 平成9年度生まれ～平成18年度生まれ(誕生日が1997年4月2日～2007年4月1日) ※1
の女性で、HPV ワクチンの定期接種の対象年齢(小学校6年から高校1年相当)の間に接種を逃し
- 過去に HPV ワクチンの接種を合計3回受けていない方 ※2

を対象に令和7年3月まで HPV ワクチンを公費(無料)で接種できるものです。

対象の方は、住民票のある市町村からお知らせが届きます。



※1 このほか、平成19(2007)年度生まれの方は、通常の接種対象の年齢を超えても、令和7(2025)年3月末まで接種できます。

※2 HPV ワクチンは合計3回接種します。1回接種したことがある方は残り2回、2回接種したことがある方は残り1回、公費で接種を受けることができます。

キャッチアップ接種について(厚生労働省ホームページより)

https://www.mhlw.go.jp/stf/seisakunitsuite/bunya/kenkou/hpv_catch-up-vaccination.html

ただし、ワクチンで防げない HPV 感染もあります。子宮頸がん検診を定期的に(20歳以上の方は2年に1回)受けることが大切です。

また、HPV 感染は主に性的接触により起こります。パートナーと共に、性感染症の予防も忘れずに！

ワクチンの副反応等が心配で接種を悩んでいる方、そのほか気になることがある方は、月1回朝倉キャンパスに来られる学校医(婦人科医師)に相談もできます(朝倉キャンパス以外の方も相談可能です)。予約もできますので、相談希望の方は保健管理センター(TEL:088-844-8158)までお気軽にお問い合わせください。

なお、婦人科医師の相談日は、KULAS の掲示板や保健管理センターのホームページでもお知らせしています。

